



WebFOCUS リリースノート（アシスト追補版）

Version 9.3.1 HF-007

本リリースノート（アシスト追補版）では、『WebFOCUS リリースノート Version9.3.0』を補完する情報と注意点を記載しています。WebFOCUS Version 9.3.1 HF007 をインストールの前に必ずご一読ください。

トピック

- WebFOCUS リリースノートについて
- WebFOCUS Version 9.3.1 HF007 で修正された問題
- WebFOCUS Version 9.3.1 HF007 で新規に発生する問題
- ライセンスファイルの適用について（WFTEST-5982）
- 以前のバージョンからの Resource Analyzer リポジトリの移行について（WFTEST-5906）
- オンラインヘルプについて（WFTEST-6061）

WebFOCUS リリースノートについて

『WebFOCUS リリースノート Version9.3.1』には、利用される環境によって必要な設定および注意点が記載されています。WebFOCUS をご利用の前に必ずご一読ください。

リリースノートは、WebFOCUS Knowledge base サイトからダウンロードしていただくことができます。WebFOCUS Knowledge base へのアカウント登録が必要です。アカウントをお持ちでない場合は、下記 URL 上に表示される「WebFOCUS Knowledge base とは？」のリンクからアカウントの申し込みを行ってください。

<https://wfp.ashisuto.co.jp/service/>

WebFOCUS Version 9.3.1 HF007 で修正された問題

WebFOCUS Version 9.3.1 HF007 では、新たに以下の問題が修正されました。

管理番号	コンポーネント	内容	修正バージョン
WFTEST-6127	Designer InfoAssist	WebFOCUSClient の言語設定が日本語の時、InfoAssist または Designer のフィルタに日付項目を設定して実行した場合、オートプロンプト画面に表示される日付項目のフィルタ設定画面に[OK]ボタンが表示されず、フィルタに値を設定できません	9.3.1 HF007
WFTEST-6106	Reporting Server	JDBC 接続の場合、Sybase IQ 16.1 SP05 以降、シノニム作成時の[DBMS オブジェクトの表示]でテーブル一覧を参照することができず、シノニムを作成することができません	9.3.1 HF007
WFTEST-6040	App Studio	HTML キャンバスで複数ページを含むタブまたはアコーディオンコンテナを配置し、実行するとローディング中のままとなり実行できません	9.3.1 HF007
WFTEST-6016	Reporting Server	プロシジャ中のスタイルシートのドリルダウン指定で使用する「¥」が改行コードとして認識されず、実行時「IBFSService.runItem の処理で内部例外が発生しました。」というエラーが発生します	9.3.1 HF007
WFTEST-5663	Designer	Vertica 検索時に WebFOCUS Hub にログイン後 1 回目のみプロシジャ編集時の Designer の起動に時間がかかり、編集画面をすぐに開くことができない場合があります。	9.3.1 HF007
WFTEST-6039	BI Portal Mobile	Designer ポータル実行時の画面サイズが小さい場合に表示されるポータルメニュー（右上のハンバーガーメニュー）をクリックしても、ページの切り替えができません。また、再度クリックしてもメニューが表示されなくなります	9.3.1

WFTEST-6026	BI Portal	WebFOCUS Hub 画面のセキュリティセンターで新規ユーザ登録する際 [ステータス] が見切れてしまい、編集できません。	9.3.1
WFTEST-6007	インストール	WebFOCUS Client を更新インストール時、インストーラのウィザード画面で「Solr インデックス再作成スキップ」用のチェックボックスとメッセージが重なって表示されています	9.3.1
WFTEST-5984	ReportCaster	ReportCaster より、スケジュールから「新規タスクの作成」でタスクを作成時、プロシジャの選択から「開く」ダイアログにて、ファイルを選択後に一度選択を解除して再度同じファイルを選択して開こうとすると「ファイルがありません」というエラーメッセージが表示されてしまいます。	9.3.1
WFTEST-5884	Designer	Designer で同じシノニムから HOLD ファイルを使用するコンテンツを 2 つ以上作成し、同一ページで配置して実行した場合（リロードした場合も含む）、エラー、もしくは実行結果が正しくない場合があります。	9.3.1
WFTEST-5850	App Studio	V8206.28 で作成したポップアップスタイルのダブルリストコントロールを含む HTML を V920 以降で実行した場合、複数の親コントロールから子コントロールに連鎖している一部のコントロールに値が渡りません。	9.3.1
WFTEST-5608	Designer	HOLD ファイルを使用したプロシジャを組み込んだページの同一セッションでの 2 回目の実行時にフィルタの選択肢が表示されません	9.3.1
WFTEST-5464	Mobile	モバイルビューアからページを実行すると、エラーが出て実行できません。	9.3.1
WFTEST-5287	Designer	DESIGNER では、作成したグラフまたはレポートを新規ウィンドウで実行するとウィンドウ名が「グラフ 1」、「レポート 1」となり、タイトル名となりません。	9.3.1
WFTEST-5102	ホームページ	コンテンツの一覧画面で、ソート指定した状態でフォルダ移動すると、ソートマーク（↓、↑）は残ったままで、ソートされていない状態になります。	9.3.1
WFTEST-4640	ホームページ	ホームページにて、カラム数が多いプロシジャを選択しプロパティパネルを開いた状態で選択ファイルを切り替えると、ハングアップする場合があります。	9.3.1
WFTEST-4628	ReportCaster	Report Caster で配信したレポートをダブルクリックするとテキストエディタで HTML ソースが表示されます	9.3.1

WebFOCUS Version 9.3.1 HF007 で新規に発生する問題

WebFOCUS Version 9.3.1 HF007 では、以下の問題（仕様変更、注意点を含む）が新規に発生することが報告されています。

管理番号	コンポーネント	タイプ	内容
WFTEST-6254	管理コンソール	不具合	WebFOCUS Hub 画面のセキュリティセンターから登録したロールを削除しようとする、「Get Properties は実装されていません」のエラーが表示されて削除できません
WFTEST-6179	Designer	仕様変更	Designer のデータタブで HOLD ファイルを作成する場合、9.3.0 までは「foccache/テーブル名 01」として作成されますが、9.3.1 以降は「foccache/t20xxxxxxxxxxx/テーブル名」として作成されるようになりました（※t20xxxxxxxxxxx は作成日付時間による一意の連番）
WFTEST-6162	App Studio	仕様変更	V9.3.1 以降、App Studio の環境ツリーで、デスクトップやエクスプローラからファイルをドラッグ&ドロップでコピーできません。
WFTEST-6160	Designer	不具合	Designer でオートリンクを実行すると、「この変数の値は無効です。'IBFS_ParentDrills'」のエラーが発生します
WFTEST-6140	App Studio	不具合	App Studio にて HTML キャンバスに挿入したコンポーネントにあるスケジュール機能を実行すると ReportCaster 画面でエラーが生じ、メニュー項目などが機能しません。
WFTEST-6133	BI Portal	不具合	レガシーホームページで作成したポータルを削除しようとする、「Get Properties は実装されていません」のエラーが出て削除できません
WFTEST-6150	ホームページ	不具合	出力フォーマットが[ユーザ選択]または[実行時に選択]（FORMAT & WFFMT）のとき、プロシジャの[プロパティ]>[クエリ詳細]を選択すると、画面が読み込み中のみ表示されません。

WebFOCUS をご使用にあたっての非互換、不具合の詳細な情報は、AWSC-2（Ashisuto Web Support Center-2※）の WebFOCUS 不具合・非互換一覧 バージョン 9（FAQ 番号：60195）をご確認ください。
<https://ashisuto.my.site.com/awsc2>

※AWSC-2 のログインにはサポート ID が必要となります。

ライセンスファイルの適用について（WFTEST-5982）

WebFOCUS V9.3.0 より、WebFOCUS Reporting Server をインストールするために、顧客 ID とライセンスファイルの適用が必要となりました。

【注意事項】

- 顧客 ID は、WebFOCUS Reporting Server インストール時に指定します。
- ライセンスファイルには、契約満了日の情報が含まれており、その日付を過ぎると WebFOCUS Reporting Server が起動できなくなります。そのため、満了日までに契約の更新と新しいライセンスファイルの入手と適用が必要となります。契約に関する手続きについては、弊社営業担当にお問い合わせください。

【手順】

1. WebFOCUS Reporting Server を停止します。
2. 以下のフォルダ/ディレクトリに、入手したライセンスファイル（license.txt）を配置します。

ライセンスファイルの配置場所：

Windows: <drive>:\ibi\srv93\wfs\bin

Linux: <directory>/ibi/srv93/wfs/bin

3. WebFOCUS Reporting Server を開始します。

以前のバージョンからの Resource Analyzer リポジトリの移行について（WFTEST-5906）

WebFOCUS V9.2.2 以降、Resource Analyzer を新規構成した場合のリポジトリのテーブル名は、末尾にバージョン番号を表す名前に変更となります。

各バージョンのテーブル名： V9.2.x の場合は「SMxxx_9200」、V9.3.x の場合は「SMxxx_9300」等となります

<V8.2.07 ~ V9.2.1>	<V9.2.2 ~ V9.2.3>	<V9.3.0>
SMAUDIT_8207	SMAUDIT_9200	SMAUDIT_9300
SMCOLUMNS_8207	SMCOLUMNS_9200	SMCOLUMNS_9300
SMFROMS_8207	SMFROMS_9200	SMFROMS_9300
SMFUNCTIONS_8207	SMFUNCTIONS_9200	SMFUNCTIONS_9300
SMGOVERN_8207	SMGOVERN_9200	SMGOVERN_9300
SMQUERY_8207	SMQUERY_9200	SMQUERY_9300
SMRELATIONS_8207	SMRELATIONS_9200	SMRELATIONS_9300
SMREMOTES_8207	SMREMOTES_9200	SMREMOTES_9300
SMREQUESTS_8207	SMREQUESTS_9200	SMREQUESTS_9300
SMRPCREQUESTS_8207	SMRPCREQUESTS_9200	SMRPCREQUESTS_9300
SMRPCS_8207	SMRPCS_9200	SMRPCS_9300
SMRPCWF_8207	SMRPCWF_9200	SMRPCWF_9300
SMSERVERS_8207	SMSERVERS_9200	SMSERVERS_9300
SMSESSIONS_8207	SMSESSIONS_9200	SMSESSIONS_9300

WebFOCUS のバージョンアップにおいて、V9.3.0 の新規インストールを行い、以前のバージョン（V8.2.07～V9.2.3）で構成済みの Resource Analyzer リポジトリを移行する場合、以下の手順で対応してください。

以前のバージョンから Resource Analyzer リポジトリの移行を行わない場合は、対応の必要はありません。

また、以前のバージョンから更新インストールを行った場合は、Resource Analyzer のリポジトリテーブルは以前に構成されたテーブル名が使用されるため、対応は不要です。

【事前確認】

- 移行元環境（V8.2.07～V9.2.3）と移行先環境（V9.3.0）の Reporting Server のコードページは、同じである必要があります。
- 移行元環境（V8.2.07～V9.2.3）と移行先環境（V9.3.0）の Resource Analyzer 構成で使用するアダプタのタイプ/バージョン、接続名は、同じである必要があります。

【手順】

1. 移行元環境と移行先環境の Reporting Server のサービスを停止します。
2. 移行元環境の<drive>:¥ibi¥srv**¥wfs¥catalog¥rm フォルダをコピーし、バックアップを取得します。
3. 移行先環境の<drive>:¥ibi¥srv93¥wfs¥catalog¥rm 配下に、2.で取得したバックアップから rm フォルダ配下のファイルをコピーします。
4. 移行先環境の Reporting Server のサービスを起動します。
5. Web コンソールにアクセスします。ブラウザを起動し、次の URL にアクセスします。
http://hostname:port/
説明：
hostname
WebFOCUS Reporting Server を実行しているマシンのホスト名または IP アドレスです。
port
インストール時に指定した HTTP ポートです。デフォルトは 8121 です。
6. 画面上部のツールメニューから[リソース管理]を選択し、リソース管理画面で以前のリリースで蓄積された利用ログを表示できることを確認します。

オンラインヘルプについて（WFTEST-6061）

WebFOCUS V9.3.0 より、オンラインヘルプは以下のメーカードキュメントサイトで公開されるヘルプに統一されました。（オンラインヘルプは現在英語版のみの公開となります。）

【WebFOCUS Client】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-wf/9.3.0/doc/html/Default.htm>

【WebFOCUS Reporting Server】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-rs/9.3.0/doc/html/Default.htm>

【WebFOCUS App Studio】

<https://docs.tibco.com/pub/wf-as/9.3.0/doc/html/Default.htm>

各ヘルプは、HTML 形式でダウンロードすることもできます。

以上